

総力特集!

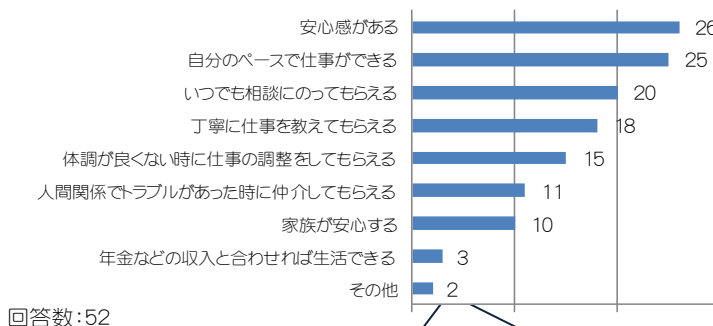
あなたはどう働きますか？

こころんが就労支援事業を始めてから、もうすぐ10年になります。通所するメンバーの多くは、目標をもって就労訓練に取り組んでいます。

訓練を続けていくといつか選択する時がやってきます。「いつか一般企業への就職に挑戦する」のか、それとも「ずっとこころんで働き続ける」のか。みんな迷いながら、自分の道を見つけています。この働き続ける中で必要な大きな選択について、こころんに通所するメンバー、一般就労したメンバーに意見を聞いてみました。

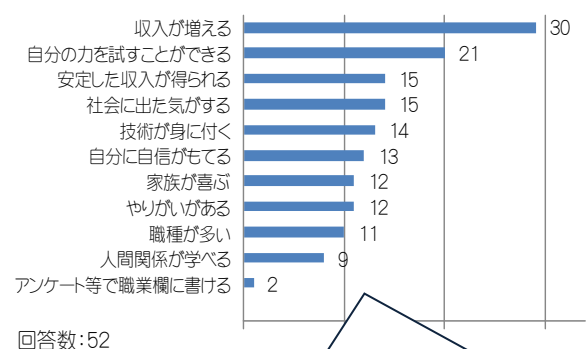
まずは働き方の違いによるメリット・デメリットを聞いてみました(複数回答可)

施設就労の良いところは何だと思いますか？



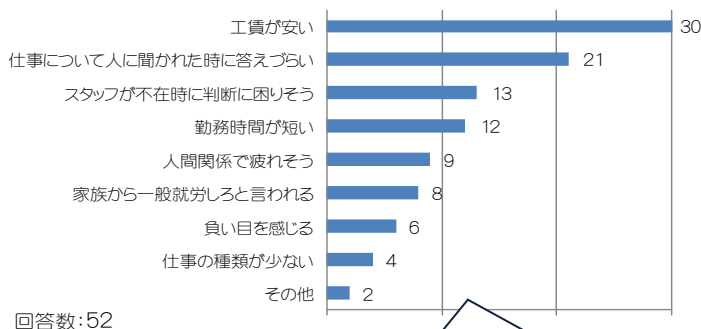
施設の良さは「安心感」と25人が回答。「自分のペースで仕事ができる」「相談にのってもらえる」など、支援を受けながら働くことの良さを実感している方が多いです。

一般就労の良いところは何だと思いますか？



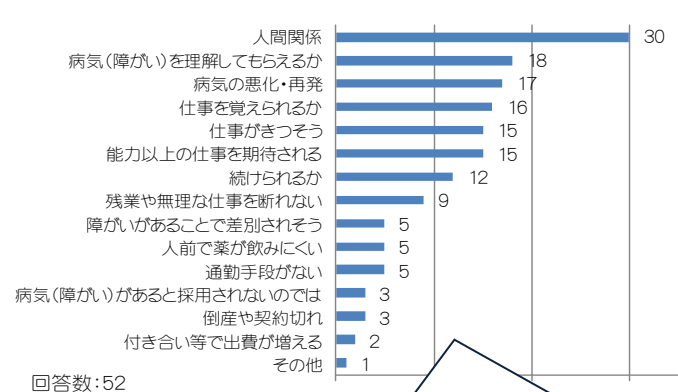
一般就労で収入UPも魅力ですが、「自分の力を試すことができる」の回答が2位に。一般社会でチャレンジしたいという気持ちが根強いようです。

施設就労で困りそうなこと、不安なことはありますか？



工賃の低さが最多。ひとりで生活していけるのかという不安の声が多くありました。また、施設で働くことに負い目を感じる人は少ない(6人)ですが、人に聞かれた時にどう答えるかは困ることが多い(20人)ようです。

一般就労で困りそうなこと、不安なことはありますか？

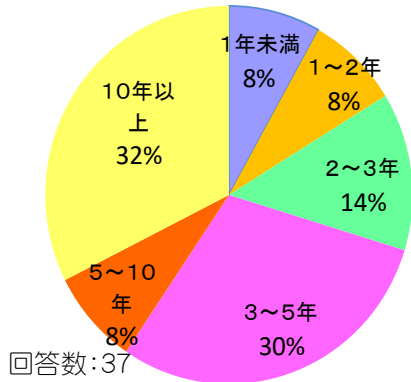


人間関係がダントツの1位に。病気(障がい)を理解してもらえるか、仕事がつとまるのかに不安を感じる人が多いです。

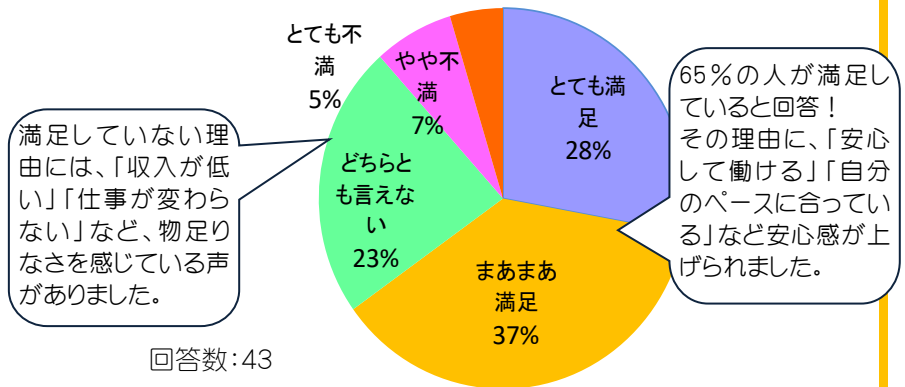
総力特集 ● あなたはどう働きますか？

現在、施設で働いている方に質問しました

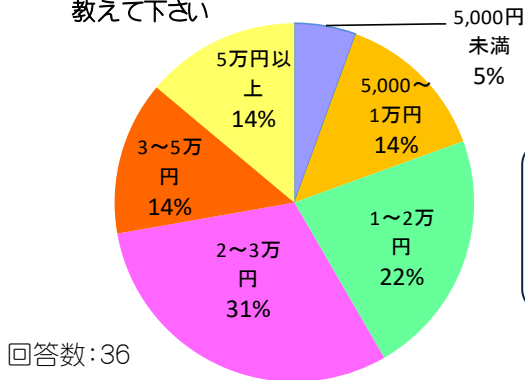
施設で働いて何年ですか？



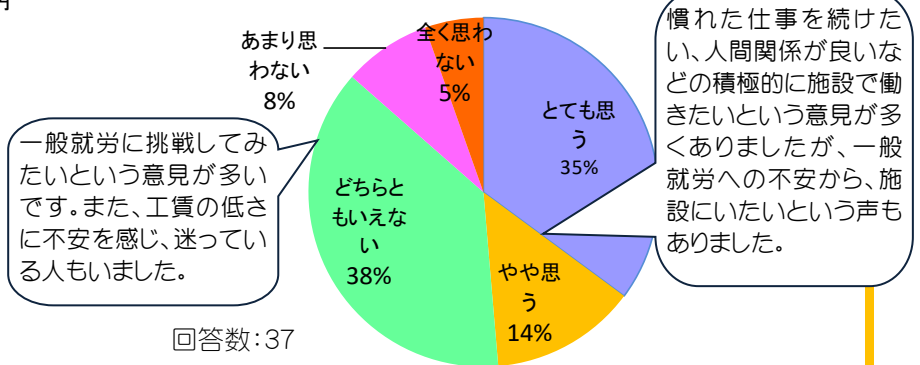
今の仕事に満足していますか？



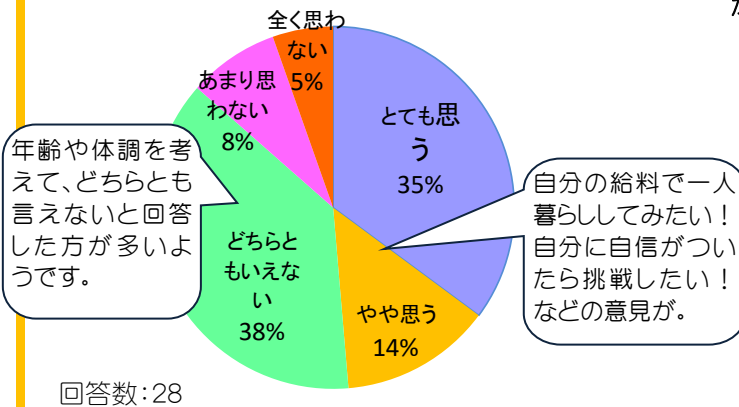
施設就労で得られる工賃(月額)を教えてください



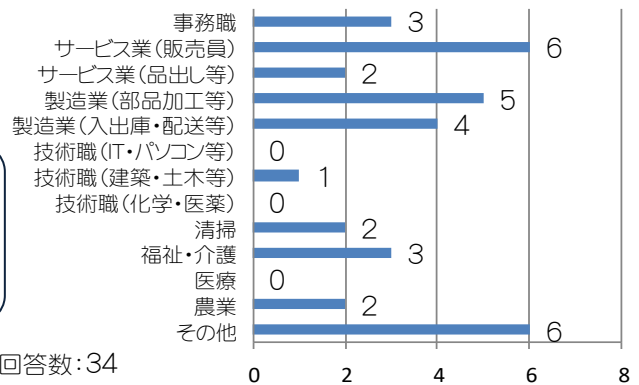
ずっと施設で働き続けたいと思いますか？



将来、一般就労したいと思いますか？



一般就労するなら、どんな職種で働きたいですか？



働いていて嬉しかったエピソードを教えてください

施設就労編

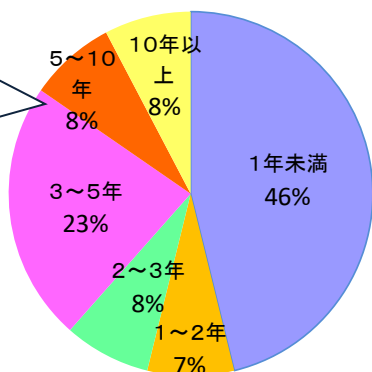
- 外販などでいろいろな人とふれあえる
- 働いて出会えた仲間がたくさんいる！
- 新年会、旅行など一般社会と同じような行事がある。
- お客様に喜んでもらえた。「ありがとう」と言われた。
- 体調を崩した時、悩みなどを聞いてもらえた。
- スタッフにほめられた！
- 工賃をもらえた！
- 賞与をもらった！

一般就労編

- 忙しい時期を職場のみんなと協力して取り組んで、成功させた時に、達成感と一体感が味わえた。
- 少しずつ体力がついて、勤務時間を延長できた。
- いろいろな人間関係を築くことができた。
- 仕事を任せられるようになった。
- 新しい仕事を努力してやっと覚えられた。
- 人から「成長したね」と言われた。

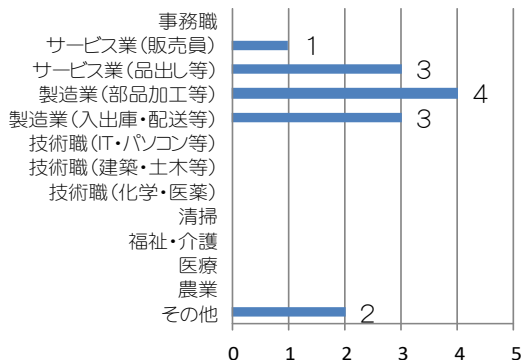
一般就労中のメンバー13名が答えてくれました

働いて何年ですか？(休職期間がなく転職した方は前職も含めた期間)

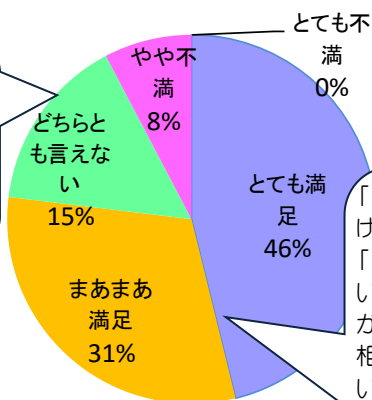


就職する前は「続けられるのかな？」と不安に思うこともありますが、3年以上働いている方が約4割います。

現在の職種を教えてください



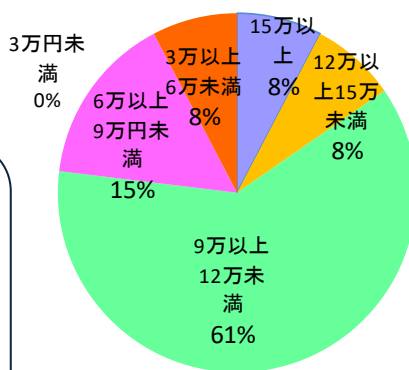
今の仕事に満足していますか？



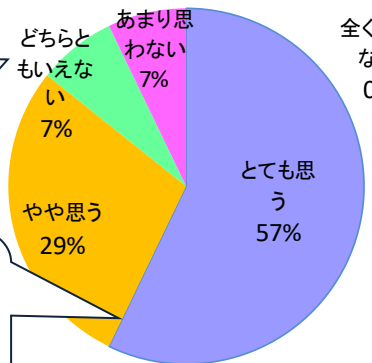
「体調が良くないので仕事に集中できない」「退職した人の分まで自分の仕事量が増えた」など、仕事の辛さを感じています。

「自分に合った仕事に就けた」「職場が楽しい」「人間関係に不安がない」「病気に対する配慮が受けられる」「職場に相談ののってくれる人がいる」など満足している人が7割以上！

一般就労で得られる収入(月額の手取り)を教えてください



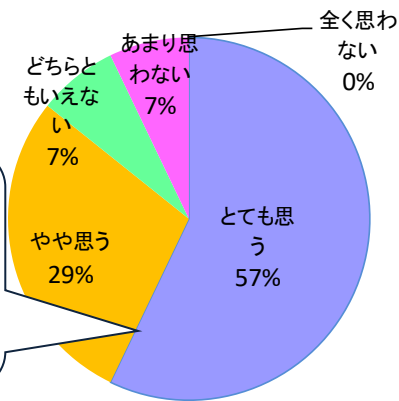
ずっと一般就労で働き続けたいと思いますか？



働き続けたいけれど、年齢や体力的な不安から、ずっとは難しいかもと考えている人もいました。

続けたい人が8割以上。収入、会社の安定性などの理由が多いですが、人として成長できる。仕事が楽しい！といった意見もありました。

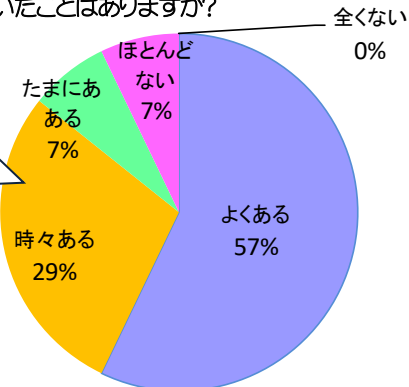
将来、施設で働きたいと思いますか？



「具合が悪くなった時に助けてもらえそう」「定年になったら」など。一般就労を続けたいけれど、安心して働ける施設の良さを認める意見が多くありました。

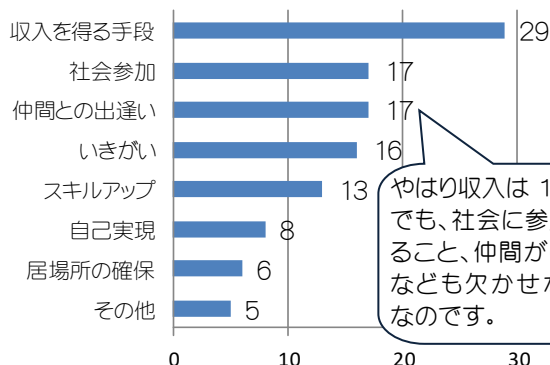
最後にみんなに質問です

一般就労か施設就労かで気持ちが揺れ動いたことはありますか？



「揺れ動いたことがある」と答えた人が9割以上！みんな迷いながら道を見つけてきたんですね。

あなたにとって「働く」とは、どういうことですか？(複数回答可)



やはり収入は1番大事。でも、社会に参加していること、仲間がいることなども欠かせないものなのです。

● ● ● ● 農福連携セミナー開催



「農業と福祉の連携による障がい者の工賃アップの可能性」をテーマとしたセミナーが1月21日、ホテルサンルート白河で開催されました。主催はしらかわ地域自立支援協議会就労支援部会、共催は社会福祉法人こころん。参加者は企業・団体・個人事業者・学校関係者および白河地域における福祉就労系事業者など約40名。

講師の濱田先生は「農福連携の全国の現状と事例」について、林先生は「農福連携に取り組むことの意義」について語り、また後半は「これから新規事業を立ち上げるこ

とを前提とし、その(工賃アップを視野に入れての)事業方針および経営方針を話し合うワークショップが開催されました。各グループからは「体験農園事業」「ペレット加工事業」「間伐材加工事業」「新しいグリーンツーリズム事業」など独創的な事業が発表されました。(高澤)

◆我が国における農業と福祉の連携の取り組みについて(JA 共済総合研究所主任研究員 濱田健司先生)

現在、農業に関わる人口が昭和35年と比較し、およそ85%減少しており、高齢化および耕作放棄地が増加しています。一方、障害者福祉では働く場の不足や極めて低賃金という課題があります。しかもそれぞれ単独での課題解決は困難であり、「それでは、一緒にやれば良いのでは」としてこの2~3年、農福連携が進んでいるという状況です。

農福連携に商工を加えた「農福商工連携」、特に地域の多様な主体連携型農福商工連携が重要であり、その為には①意識啓発、②モデルづくり、③農福、農福商工のマッチング、④点→線→面とするためのシステムづくり(行政による支援、人材育成、中間支援組織育成、機械・施設整備ほか)が必要と思われます。また、地域内外との連携や、企画・開発・生産・加工・販売にかかる連携なども考えられるところです。

農家さんとの交流を大切にしながら、余った農産物を販売することからはじめ、少しずつ雇用へと結びつけ、段階を踏みながら自分で農業を始めるようにしたら良いと思います。



◆地域の課題に応える障がい福祉サービス事業者の役割について(一般社団法人日本基金 林 正剛先生)



これからは「農を“業”として考えず、まずは、地域における役割を考えてみる」が「農」との連携で目指すテーマになると思います。それは「農家の高齢化、継承者の不在で課題となる生産量の縮小、遊休農地や耕作放棄地の拡大、農家の廃業」などの課題に施設が応え「農」にかかわるということです。

農家で作られたとれすぎ野菜、規格外果物などを食品加工の設備・技術を持つ施設が受け、加工食品の製造を行うことで1次×2次の連携を作る。また、高速道路SAや道の駅などで、おみやげ品、地産地消商品、B級グルメなど地域特産品として販売することで、地域の活性化が期待できると思います。

「地域における役割」を視点に考えると、「商業」「観光」「環境」「教育」・・・連携の先には多様な可能性があります。また「福」の持つ力を地域で発揮し、多様な連携の形をつくるのがポイント。そのほか「外部」との連携も考えられます。例えば食品の表示が厳しくなっていますが、商品表示のプロとの連携も考えられるのでは。

工賃15,000円が80,000円になることは夢みたいですが、決して不可能ではありません。お互いの強いところと、弱いところを補い合う。施設の多くは自分たちだけに閉じこもりがちです。既にできている者と、それで困っている者とを連携する。施設の視点で、利用者の力を活かしながら、地域と連携をしていくことが大切です。

活・動・報・告

バイキングランチ

平成 27 年 12 月 26 日、こころと、なごみの家のメンバー・スタッフ計 17 名で、ホテルサンバレー那須のバイキングに行ってきた。

なごみの家がある白河から現地まで、約 40 分かかりました。私は、なごみの家の花見でも行ったことがあるので 2 回目です。到着して受付を済ませ、部屋に入ると沢山のランチが並んでいました。

メニューは、ローストビーフ、野菜サラダ、カレー、から揚げ、うどん、デザートなどなど、たくさんありました。

70 分という制限時間の中で私は、お腹一杯ランチになりました。私好みで美味しかったなあ……！

帰りのバスの中では「また来たいね」との声も聞かれました。途中、事故もなく無事に帰ってくる事ができ、このような企画をして下さったことに感謝したいと思います。運転担当の方、メンバーさん、スタッフのみなさん、お疲れ様でした。(ますみ)



新年会



平成 28 年 1 月 11 日、中島村の生涯学習センター輝ら里にて、こころん施設交流新年会が開催されました。今年は、くじ引きで 6 つのグループに分かれ、ゲーム大会をしました。ジェスチャーゲーム、勝ち残りじゃんけんなどで盛り上がりましたが、私のグループは、チームワークも良く優勝できたことは良かったと思います。

特に、毎年恒例の〇×クイズで最後まで勝ち残ったことは、大変うれしく思います。もしかしたら、今年の運はもう使い果たしてしまったかな？

司会の進行も良く、楽しい企画だったと思います。また来年も楽しみにしています。(H.W)



こころんの風景

生活支援センターこころんの建物の一角に工事が入りました。半透明の壁の中では、なにやら人影が……
いったい何をしているのかな？



* 答えは編集後記をご覧ください。



服薬あるある

20 年くらい前に、友達が薬をやめても全然平気だったのを見て、自分もやめられると思い断薬をしました。日に日に具合が悪くなり、最終的には入院になってしまいました。

回復するにはかなりの時間がかかるので、自分で薬をやめてはだめです。やめないようにしましょう。(関根勝明)

●●● 投稿募集中！ ●●●

こころん通信編集委員会では、みなさんの投稿を募集しています。服薬に関するエピソードをぜひお寄せ下さい。

宛先：こころん通信編集委員会（根本、植木）
FAX：0248-53-3063

MAIL：shuro@cocoron.or.jp



施設だより

～こころんの各施設の近況をお伝えします

酒粕クッキーが銀賞受賞！●こころん工房



工房で働き始めてやっと7か月のゆっきーなです。今は、工房でプリンやクッキー類の生地を任されるようになりました。大変だと思いう仕事もありますが、今は、楽しく仕事ができます。工房に入って良かったと感じています。

1月30日、平成27年度授産施設新製品(商品)開発コンクールが福島の飯坂ホテル聚楽で開催されました。こころん工房では、「酒粕クッキー」と「こころんの羽」を出品しました。矢吹町の酒蔵・大木代吉本店の酒粕を使った「酒かすクッキー」が、見事銀賞に輝きました。

たくさんの方々に応援して頂き、受賞することができ、嬉しく思います。これからも美味しいお菓子作りを目指していきます。(ゆっきーな)

元気で仲良く！●あけぼの荘

あけぼの荘スタッフの菊地です。入所者の人数は男性9名、女性6名の計15名です。些細なことで口げんかもありますがすぐ仲直りするという仲間たちです。重いものを持ってもらったり、あれこれ手伝って頂けるので、いつも助かっています。ありがとうございます。

食事で気を付けている事は、美味しい食事を作ることはもちろんですが、野菜の品数を多く、軟らかめに仕上げ、薄味にすることです。

お誕生日の方にはその方の希望のメニューを作ったり、外食に出かけたりします。

また、今の季節の楽しみの一つに、通称「お花見」があります。花見といってもあけぼの荘では桜を見にいくではありません。桜の季節に、好きな店で食事をしながらカラオケを貸切で歌って、思うぞんぶん楽しむのです。

みなさんに一つお願いがあります。楽しんだ後は、皆さんダイエット頑張ってくださいね。



私の仕事(店内美化)●こころや

みなさんこんにちは。こころやの河野です。季節は春。何か良いことが起こりそうなワクワクする季節ですね。

私はこころやでは、美化を担当しています。店内の床や棚を見て、汚れに気づいたらモップをかけたり、掃除機をかけたりしています。店内の掃除だけでなく、お店の外を掃き掃除したり、外販車を洗ったりと毎日たくさんの仕事があります。



こころやは、女性のお客が多いので、常にきれいなお店にすることを心がけています。お店をきれいにすることで、お客様の数や品物の売れ方が違ってきます！

最後に、あなたもこころやで働いてみませんか？難しいことはありません。一人では難しい仕事も、メンバー同士で協力して行っているの安心して仕事が出来ています。

みんな優しい人ばかりなので毎日楽しいですよ！みなさんと一緒に働けることを楽しみにしています(^・^)/ (河野正道)

みんなでクルクル恵方巻き●なごみの家

お正月も過ぎ、『福は内、鬼は外！！』そんな声が聞こえる季節となった2月、なごみの家では節分の日の『恵方巻き』を作成しました！

嬉しい事に、昨年引き続き沢山のご注文を頂き、試作・試食を重ね、前日から具材の仕込みで大忙し！



さてさて中身の具材はというと、干瓢・椎茸・牛蒡・人参・厚焼き玉子・桜でんぶ・水菜で彩りも鮮やかに並びます。作業はみんなで分担。具材を煮付ける人・玉子をひたすら焼く人、美味しくご飯を炊く人、くるっと海苔を巻く人、最後の包装で仕上げる人、なごみの家スタッフそれぞれが思いを込めた渾身の作品となりました！

今回私は厚焼き玉子の担当。こころん矢部農場の海源卵を使った厚焼き玉子は、黄身の色も鮮やかで焼き始めるとホットケーキのような幸せいっぱいな匂いがただよって、焼いている私も何とも幸せな気分。はて、何本焼いたかな～？

個性豊かな具材達の一つにくるとまとまる姿は、まさに『なごみの家』そのもの。スタッフも利用者も個性豊かだけど、みんなが協力し合い作品を作り上げる時間は、忙しくも楽しい時間となりました。

みなさん、お召し上がり頂けましたでしょうか？食べた方も、そうでない方も、次回の恵方巻きも乞うご期待くださいね！

なごみの家では、定番のコロッケを始め、今回のような季節のお惣菜も作っております。食を通じ、日本の文化や季節の移り変わりを感じる事が出来る事、そして販売をしながら消費者のみなさんにも伝える事が出来る事は、とっても嬉しいですね。なごみの家のお惣菜が、みなさんの食卓を彩って、そこにもう一つの『なごみ』の空間が生まれたら幸せだなあ...と思っています。(山岸)

切花事業を始めました●活動センター



こころんで、「切り花事業」を始めました。主に直売・カフェこころやで販売中。生産者さんからの直接仕入で、現在のところ4色のアルストロメリアを取り扱っています。

花の色ごとに組み合わせながら、余分な葉を切り落とし、輪ゴムで留め、丁寧にラップで包み、ラップのシワをきれいに仕上げます。特にお彼岸などの売り上げ時には、何人ものメンバーさんが、共同して出荷の準備をおこないます。3月のお彼岸には大人気で、300束も販売しました。

「いいお花を安いお値段でお客様にご提供する」がこの切り花事業のコンセプトです。

「アルストロメリアの花言葉は、花の色ごとに白は「凛々しさ」、赤は「幸福な日々」、ピンクは「気配り・献身」。黄色は「持続」です。とても日持ちする花なので、贈り物はもちろんご自宅用、お供え用にも適しています。ぜひみなさん、皆さん、買ってくださいね♪

大雪に助っ人登場！

平成 28 年 1 月 30 日、大雪が降りました。こころやでも雪かきの大変さにみんなで頭を抱えていました。すると……「お～い！雪かきするのか？」と丸豊モータースの社長が登場！

丸豊モータースさんは、こころんの車両をメンテナンスして下さる泉崎村内の自動車整備会社です。大雪を重機で一気にザーッと片付けて下さいました。

みんな総出でやっても 1 日かかるだろう雪かきがあっという間に終わり、本当に助かりました。丸豊モータースさん、ありがとうございました！（ぼおる）



D&Mさんから頂いているまゆ玉は、こころやの野菜 BOX などの発送に大活躍！いつもありがとうございます！！

寄付・寄贈をいただいた方（順不同）

- 【寄附金】 吉田 孝雄 様
- 【寄贈品】 (株)ディーアンドエムホールディングス 様(梱包資材)
- 長倉 保 様 (新聞バッグ)

■□■こころん後援会にご入会ください■□■

社会福祉法人こころんは、障がいのある人びとが、地域の中で安心して生活できるよう、「障がいのある人も無い人も安心して暮らせる地域作り」を目指しています。こころんの活動に賛同しご協力頂ける会員を募集しています。会費は無料です。ぜひご入会下さい。

*会員について

- この会に賛同する個人及び団体または事業所を対象とします。
- 会員の皆さまには会報をお届けします。
- 各種行事等のご案内を差し上げます。(行事に、ボランティアで参加することもできます。)

活動報告	編集後記
1月 6日 こころや：初売り 1月 9日 こころや：新年大売出し 1月 11日 新年会 1月 30日 授産施設新製品（商品）開発コンクール」出品 2月 3日 豆まき・福茶 2月 21日 農業と福祉の連携セミナー 3月 18日 レクレーション：カラオケ 3月 18～21日 こころや：お彼岸セール	看板犬のコロン（メス）がこころんにやってきてから 2 年が経ちました。今ではコロンがいるのが当たり前風景になり、休み時間には、いつもメンバーさんから声をかけられたり、なでられたりしています。コロンもとっても楽しそう。 でも、見慣れないお客様には、激しく鳴き続けることがあります。番犬としての使命感も強いようなので、騒がしくても多めにみて下さいね。（植木）
今後の予定 4月 1日 こころん創立記念日 4月 8日 レクレーション：花見 4月 16日 泉崎村・さくらウォーク出店 太陽の国・さくらまつり出店 5月 3～5日 こころや：GW 限定おこさまランチ 5月 17日 こころや：ミニ・リース教室 6月 21日 こころや：雑穀・エゴマ活用術教室 7月 こころや：お中元セール	P5 こころんの風景で紹介した作業室は、新しくできた野菜乾燥室。こころんファームで収穫した野菜や、生産者から預かった果物等をスライスして乾燥させています。少しずつ商品化していきますので、ご期待下さい。
	編集委員 佐藤栄一 小林茂美 今宮智真 根本翔太 高澤宣彦 植木千花